常磐毎日新聞

日刊

八月二十四日夕刊

定價 一部金貳錢 一ヶ月金五拾錢 郵税五厘
廣告料 普通一行五拾錢、場所指定一行七拾錢
日曜祝祭日の翌日休刊
發行兼編輯人印刷人 坂本忠治 福島縣平市長橋町三五
發行所 常磐毎日新聞社 電話 六三〇番
印刷所 常磐毎日印刷株式會社 （振替口座）東京 四〇二一〇番

印刷の御用は
常磐毎日印刷株式會社へ
電話六三〇番

防空演習鐵壁陣

けふ濱通り講習會

來月十二日から五日間關東北一齊に實施される防空演習に關し濱通りの講習會は本縣警務課佐藤警部補が來平本二十四日午前十時から平署會議室に開れた

平市の防空協議

廿七日各團體主腦參集

平市では防空演習に備へ廿七日午後一時から行政區長其他諸團體主腦、參集左記事項を協議すると

防空訓練實施科目及方法に關する件、防空訓練の準備に關する件、家庭防火群設立に關する件、其他の防空に關する事項

就職難は全く解消

平職業紹介所は軍需景氣が反映して過般來常磐炭礦を始め東洋レーヨン、中島飛行機製作所、帝國鋼管、浦賀ドック、芝浦製作所等から連日求人申込みが殺倒目下のところ就職難は完全に解消した感があり明二十五日第一校講堂で銓衡試驗が行はれる浦賀ドックの如きも既に六十餘名の應募者が殺倒してゐると

三校長叙位

飯野小學校長坂內伊貞、磐崎高校長野木繁彌、赤井第一校長高橋武雄の三氏は二十五日附正八位に叙された

ラヂオ体操の……出場九萬五千人

流石は非常時局自覺

健康報國の誠を發揮

既報—去る一日から二十日まで市內八ケ所で擧行された平市ラヂオ體操の會の出席人員はこの程平局健康保險課から發表されたが夫れによると國家非常の時に自らの健康により報國の誠を盡さんとする市民の自覺から各會場ともあふるゝ盛況で總出席延人員は九萬四千三百六十二名といふ大多數に達した、この內中等學生、小學校兒童が六萬三千百三十五名、一般が三萬一千二百七十七名で一日平均四千七百十八名に達し昨年の總出席人員六萬八千七百六十一名に比べれば二萬五千六百一名增加し頗る好成績であつたといふ、各會場の出席人員は左の如くである

△第一會場—二四、五七〇 △第二會場—二一、一七七 △第三會場—三三、一七二 △一丁目—三、一七四 △長橋町—二、二五八 △片倉八、五一四 △警察署一、二二〇 △土木監督所—二七七

平年作に太鼓判

但しイモチ病は警戒

▼……農村愁眉を開く

長雨のため憂慮された本郡下の稻作は本月初旬より回復した天候の良好なのに惠まれ稻作もぐんぐん持ち直し神谷農事試驗分場の調査した現在の發育狀況は

△早稻草丈四、〇二尺莖數一〇、三本△中稻草丈三、六九尺莖數一四、八本△晩稻草丈三、四六尺莖數一五、六本

となつて居り草丈は平年作に比し二寸八分から一寸五分の伸長で莖數は二、八本から一、二本も多く出穗時日が多少遲れてゐるにすぎず既報のイモチ病が減退し且つ風水害等の災害が起らぬ限り平年作は心配なしと農試では太鼓判を捺して居り農村は漸く愁眉を開たわけである

日鮮融和の協和會が成立

既報—去る廿三日午前十時より植田署樓上に於て管內日鮮人の融和を計るため植田協和會を組織することゝなりその準備會を開催した、參會者は中山吉之助、成瀨巴三の兩氏を初め大日本炭礦、山添炭礦、植田町古物商組合齋藤直吉氏、これに鮮人側代表者約十名出席、左の役員を決定した

（會長）鯉淵署長（副會長）渡邊警部補、中山吉之助（指導者）川村巡査部長（顧問）大日本炭礦、山添炭礦、成瀨巴三、齋藤直吉の諸氏、終つてみどりに於て盛大なる懇親會を催した、因に發會式は來る九月四日午前九時より鮮人百餘名の參集を求め盛大に擧行することゝなつた

施餓鬼の酒肴料を

住職が獻金

平市古鍛冶町良善寺住職柳內悅嚴氏は施餓鬼の酒肴料を節約した金六圓を二十四日市役所を通じて恤兵金に寄託

荒廢林技手

本縣農林技手入交保雄氏は二十三日附縣營荒廢林地復舊工事平臨時出張所主任を命ぜられた

國境で戰死

石城郡植田町大字小濱字渚出身〇〇部隊步兵一等兵豊田藤次君は去る九日日ソ國境の紛爭地點である張鼓峰の戰鬪で名譽の戰死を遂げた旨この程原隊から町役場へ通知があつた

遺言の寄附

平市二丁目茗荷屋事襲名坂本藤助氏は亡父の遺言により金五十圓を二十四日市軍事後援會に寄附した

營林野球會場

既報—來る二十八日磐中球場に擧行される筈であつた平營林署外資三郡下五營林署の對抗野球大會球場は都合により双葉郡上岡村小學校に變更さる

姿を晦す

不幸な小女

小川村大字上小川字根本農盛保三女鈴木たかよ（一七）は醜業婦に賣られるからと家を飛び出し豫ねて知合の平市白銀町齋藤角治氏方で世話になつてゐたが再三親が迎へに來るので市內田町榮家方へ身を隱させたところ二十二日午前十時頃飄然姿を晦ましたので齋藤氏は自殺のおそれありと早速平署へ搜索方を願ひ出た

桑は不足でも「收繭は減らぬ」

順調な天候に惠まれ

初秋蠶の經過が良好

石城地方における初秋蠶は掃立以來の順調な天候にめぐまれ全般的に經過は頗る良く早掃は既に上簇期に入り大低五齡二、三日といふところで一部には桑不足騷ぎすら演じ從つて桑葉の相場も多數吊上げられてゐる模樣である、四倉繭市場も既記の如く來る二十六日頃から取引を開始する筈で目下準備を進めてゐるが出廻りは桑の發育不良を見越し掃立を手加減したもの、蠶兒の經過良好から收繭量は案外多く前年よりいくらも減少すまいと豫想されてゐる

留守宅荒し

懲役二年

けふの言渡

既報平郵便局の留守宅荒し內郷村大字高坂字立野前科二犯鈴木一夫（二二）に係る窃盜事件の公判は今二十四日午前十時から平區に開廷されたが淺野判事から出獄後間もなく罪を犯したもので改悛の情認め難く全く酌量の余地がないとて富澤檢事の求刑通り懲役二年の判決を言渡された

青年指導講習會に出席して

平第一校　水竹生

—（第二信）—

二十二日朝五時、起床合図の板木の音に飛び起きれば、室の掃除を……はゝき、帶、雜布と、或は庭、或は割當ての道場……と雜念も不平もなく只黙々と働く、これが家庭にあつて氣儘一杯の生活を送る我々であらうか……と自分乍らあやしむ

朝の行事—點呼、神社參拜、宮城遙拜、國旗揭揚、ラヂオ體操……輕い驅足の散步

松林の中、朝露やどる下草をふみしめつゝ、武藏の原を駈けめぐる。所は小金井櫻の丘、延々五里の櫻の堤をたゞ駈ける汗はじつとりと……

「箸とれば、天地神の御惠み、祖先と親の恩を味へ」いたゞきますの朝食は家庭では味へないうまさだ。食後小一時間ののんびりしたひと時、時雨に蟬の聲もなく、紫の煙が室一杯にたゞよふ

九時半より十時半まで栗原理事の「青年團運動の動向」の講話、熱あり氣概あり、薄暗い講堂の陰鬱さをけしとばす「青年よ世界の現狀を知れ、しかして世界建設の組織的な氣魄を持て。しかも默々として耕す、働くべき日本人のよさを持て、そして邁進せよ」の語。

午後は體驗發表と唱歌、各青年團の經營の苦心を聞くも、我は都市青年團の經營を知りたい

統制の機構下に魚類輸送の痛手

鐵釘の品拂底から

製函が不能

戰時體制下にある磐城各濱の漁業關係者は秋の鰯秋刀魚期を控へて鐵類統制の機構下に全く悲鳴を揚ぐるに至つた、殊に直接影響を及ぼす鰯、秋刀魚輸送用製函業者は最近八分乃至一寸釘の品拂底から遂に買付不能に陷り今後の製函業は全く不可能事視せらるゝに至つたのでこれに代る可き代用品、若しくは輸送荷造方法を考慮するに非ざれば長期抗戰の手前絕望視せらるゝに至りしため既に業者間においてはこれが對策を考究中と言はれ更に水揚慣習上、從來使用し來たれるボデー（籠）には相當針金を使用し每年船主一戶平均三百乃至五百ボデーを新造して來たがこれ又鐵類統制の結果買付困難となり本年度よりボデーを廢し木箱を使用する向の多いところこれ又製函不能の點から憂慮さるゝに至つた、その他軍需用品として相當重要視せられてゐる鰯漁油鑵の口付用ハンダの如きも毎年一鑵三錢、五錢を以て取付來りしものが本年は品拂底に刺戟され今秋から一鑵四錢の取付料を要する事となり、それさへも滿足な結果を得られない狀況にあるが軍需品關係は特に知事の許可制に依り一縷の望みが繫がれる等相當打擊を受くるに至つた

五十嵐場長の抱負を聽く

小名濱支局通信

支局長　小野務平

日支事變が長期對戰の一大覺悟の上に精神總動員と切つかけに物資の統制を云ふ國家的立場から各業者に向つて窮屈なる法令を布き一にも二にも長期對應の準備から割り出して統制される事となつた、漁業家も燃料、重油、漁具、綿絲等には殆ど餘裕の待てぬ抑壓の上に率制策を施行されて來た、然し元來がズボラに經營して來た癖のある漁業家には此の統制法は改善に奏効をなす最善の方法として喜ばねばならぬ經濟觀念を離れては何一つ爲し得ない今日に漁業のみがズボラで推移する事は發される筈がない、この統制法を切つかけに改善すべき事項が多々ある事を考慮せねばならぬと先づ前提した

第一綿絲の方から云ふと細物は別としても太物になると繩を代用して可なるものが多分に持つて居る、殊にロープの如きに至つては藥に他の物を混用すれば耐久力に於ては一ヶ年內外であらうが價格は何十分かの一で間に合ふ筈だ。錘の如きも亦然りで草昧時代は石を以て其要を達したものである事は古き文獻によつて見受けるが、文化發達の今日では之にセメントを以て錘形とした美裝したものが出來るので目下其製法方を研究し東京に製造方を依賴して置いた是れが完成せば一貫目二圓五、六十錢の鉛が十圓近くまで高騰せしめて居る今日に於て此の代用品なれば僅かに一圓內外で仕揚げが出來る筈で如何に經濟だかゞ判明するだらう

本縣のみでも百二十艘を有する沖曳漁業が漁の有無に係はらず沖合に出る、往復の焚やす重油は決して生やさしきもので無い、之れも方法に依つては消費節約が可能である、即ち漁獲した魚族は搬送專問の船作つて往復陸上げせしめ出漁中の漁船は何晝夜かを沖合で暮すと云ふ事に改めたならば其節約こそ決して尠少のものでないと云ふ事は素人の人の頭にもピンと來るだらう。斯くて何から何まで戰時下に因つて適切な經營方法を案出すると共に齎す所の效果は皆國家の唱導する國策の線に添はないものは一つもない許りでなく當業者の生活にも餘裕が增大して經營難から脫離する事が請合つて茲に改革の鉄鉞を加ふる事が此時械を逸しては又と來ない事を強調したいのである、と云ふのが場長最後の意見であつた

記者は更に場長の一身上に就て某新聞紙上の記事を問題として質問の矢を放てば至極迷惑相にあれは困つた然し事實無根とまでは行かぬが官界にある現在としてはあの樣な記事は眞平だと多くを語らなかつたが現在の立場から見て現職を抛つても去らうとする底意のない事だけは看取するに難くなかつた事を想像して辭去したのであつた

債券詐欺原審通り

檢事が求刑

言渡は九月六日

被害七萬三千餘圓の債券廢を働いた平市仲間町債券賣買業橫山久（二六）に係る有價證券僞造行使詐欺事件の控訴公判は二十三日宮城控訴院で勅使河原裁判長、北岡檢事係りで開廷されたが原審通り懲役三年を求刑された、判決言渡しは九月六日

子供の溺死体

父親の傳馬船で

一諸に顚覆

二十三日朝江名町築港內に子供の溺死体が漂着したがこれは十六日父親の傳馬船に同乘して顚覆溺死した同町漁夫坂本吉郞氏の長男菊雄君と判つた

朝鮮生れの酌婦と情死

夫婦になれぬを悲觀

苦悶中を發見

小名濱町上町料理店寶金屋鈴木うめさん方酌婦朝鮮生れ宋千應（二二）は二十三日朝八時頃客の同町橋本馬上喜一氏方漁夫宮內留太郎（二七）と階下四疊の間で服毒心中を企て苦悶中發見され醫師の手當を受け兩名共意識不明だが一命は取止める模樣

原因は夫婦になれぬのを悲觀したものらしく二人は宋が去る一月まで茨城縣大津町に酌婦をしてゐた當時からの馴染だつたといふ

無理心中の兇行

女の變心を怒り

日本刀で斬込む

內郷村大字綴寫眞業半澤利三郎（二六）は二十三日午前七時頃同村磐炭長倉坑採炭夫蛭田茂（二六）氏方に日本刀を提げて斬り込み暴れてゐるところを平署員に逮捕され目下取調べを受けてゐるが

同人は同村居住の茨城縣土浦町生れ長谷部みち子（二三）假名—と三年前から戀仲となり夫婦約束までしたがこの程みち子は半澤を捨てゝ蛭田と結婚したのでこれを怨みこの裏切女を殺してやると前記行爲に及んだもので係官に對し「無理心中をするつもりだつた」と語つてゐる

綠川君戰病死

田人村出身一等兵綠川光明君は出征以來各地の戰鬪に參加奮戰中であつたが二十二日〇〇で戰病死した旨二十三日原隊から發表された

平市人事

◎出生 △新川町三一佐藤武政氏次男喜八郞君

◎婚姻 △材木町二新妻信雄（三〇）氏双葉郡廣野村大字上北迫字北之內前六四小松ミユキ（二六）さん △十五丁目二六高橋精志（二八）氏上平窪字原田九鈴木テル（二〇）さん

◎死亡 △上平窪字上同一九龜松氏五男大平壽男（四〇）氏

ラヂオ

JOHK

今晚の部

▼後六、〇〇（子供の時間）不思議問答、子供テキスト編輯部
▼後六、二五 鄉土一夕話「愛知縣の卷」三河海苔の創業美談、伊與田次郎
▼後七、三〇 國民歌謠、大日本聯合青年團
▼後七、四〇 講演「法幣の現狀と對支貨幣工作」土屋計左右
▼後八、〇〇 浪花節「阿部重子丸」浪花亭愛吉
▼後八、四〇 謠曲「田村」寶生重英外
▼後九、一五 落語「子ほめ」柳亭芝楽

明日の部

▼後〇、〇〇 和洋合奏、東洋管絃樂團
▼六、〇〇（子供の時間）お話「ドイツの若き愛國團體ヒットラー・ユーゲント」二荒芳德
▼七、三〇 國民歌謠「萬歳ヒットラー・ユーゲント」大日本聯合青年團
▼七、四〇 青年の時間「銃後農村の實踐を語る」松田甚次郎他
▼八、四五 朗讀「戰線からの便り」清水將夫
▼後九、〇五 浪花節、連夜二題「鹽原多助」木村友衛

メガネ專門の店
メガネは絕對信用ある當店に
先づ御相談下さい…………
平市本町二丁目　玉屋

喜多流謠曲と仕舞の
お稽古をお奬め致します
入會隨時
平市田町六九
喜多流 謠曲 仕舞 白土會
電話二一七番

愛憎三度笠

吉川延　作
瀧秋方　画

女の姿 一（53）……

松千代は、チラと、橫目で、大助の顏を盜み見たが、

「旦那はんは、まだ、この……色里へは初めてゞおすか」

と、きいた。

「あゝ、初めてだ。こゝばかりない」

「そんな氣がいたしました」

「野暮か」

「いゝえ、初心なところが見えますわ」

「ハハア、なるほど」

大助はポッと顏を赤めてしまつた。

「實はなア、今まで俺は、金で買ふ女は嫌だつたのさ」

「どうして？」

「女と云ふものは、つまり、金や物で代へられない處に、尊いものがあると、おもつてゐためさ」

「さうでおすとも」

「それで、俺は、色里とか郭とかに足を入れたくはなかつたのさ」

「……」

松千代は、かすかにうなづいた。

「醫者には、誠意と云ふものが、ないと、教へられても來た、その上、友達などの間に、事實、さう云ふのを見せられて來た」

「ほんまになア、薄情なものも居りますわ、皆、お金で……お金に惚れる方が多いと聞いて居りますもの」

と、氷のやうに、冷たい顏のまゝ松千代が云つた。

「處が、君と逢つて、俺はおどろいた」

と、大助は語調に、意外に力がこもつて居る、彼女は、ぢつと大助の顏を見入つて、次の言葉を待つて居るのであつた。

「全く、君におどろいた」

と、又、大助が感歎する。

「どうおしやしたの」

と、松千代は、[illegible]表情のまゝで、囁くやうに……。

「俺は感謝する、全つたく感謝する」

大助は、不覺にも涙をほろりとこぼした。

松千代は、大助が頻に抗議して、涙を流す姿を眺めも、不思議な、この世のものを見るやうな氣持がしたのか、茫然とまたゝきをしてゐるばかりであつた。

大助には、全く不思議の存在である。不思議な現實ではある。

松千代も、考へて見た、自分として、これほどまでにして、今日逢つたばかりの大助のために、盡さねばならぬ道理もないのである。それが、奇妙にも、自分でもわからない氣持が働いて、あゝした行動に出たのである。

而も、その行爲に感激して、大助は泣いて居る。他人が見れば必ず何とか云ふに違ひない。

松千代は。明朝にでもなれば、同僚や、年長の藝妓等から、からかはれるのを、豫想して、初めて、ハッと胸を躍らせたのであつた。

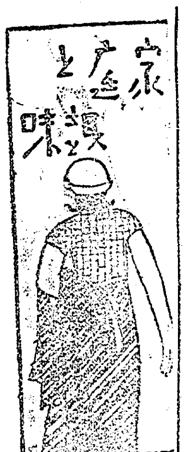
矢張、色町に、かういふ稼業はして居ても子供らしい氣持ちは拔けなかつた。

「あたし、誰ぞ、おつれを呼んで參ります」

と、立たんとする。

「呼ばなくてもいゝよ」

大助は、この氣持を靜かな春の雨を聞くやうな、甘い哀愁ともつかず、それかと云つて秋の霧を見るやうな淋しさでもなく妙に心をそゝられる悲しい氣持ちを、この若い、藝妓と二人で、ぢつと味はつて居たかつたのである。

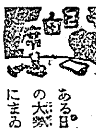


看板の出し方

看板は正面にばかり向けて出すのは大變に損です、看板は人に見せるためのものだから、遠くからでも近くからでも、いづれの方面からでも見えるやうな位置におくことが何よりも肝要である

ドイツ婦人の事變觀

神近市子



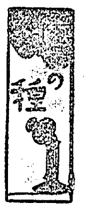
ある日、ドイツ人の大勢集まるところにまゐりましたが先日ドイツはいつごろから物資に困つたかと云ふお話の出たあとでしたので、よく聞いてゐりました。

開戰後一年で、店頭から品物が消えたのはやはり事實でしたこれは各地の都會に住んでゐた人々が同じことを云つてをりました。が、國內一般にその不足がはつきりして來たのは二年後であつたさうです。しかし中流以下の人々が、一番困つたのは終戰一年經つてからださうです。これは經濟あの有名なインフレーション時代だつたのでせう。この時分は金さへあればいくらでもよい食事も品物も買へたやうですが、何しろそれは話に絕えた高價で、一般人には手も足も出なかつたさうです。戰時戰後とも田舍よりは都會の方が窮迫の度は多かつたのですが、例のかぶらばかり食べてゐたといふのは、この時代の都會人の風景だつたさうです。

昨日もその話が出てゐましたが外人達は、日本人くらゐ物と時間を粗末にする國民はないと云つてゐます。スープ（味噌汁のことです）は半分殘して捨てゝしまふし、子供たちは半紙やノートの餘白は無論のこと、鉛筆でも白墨でも、半分使ふと顧りみないし、電氣やガスはメートルのことは考へずにつけ放しで置く――言はれて見ると一々思ひあたることばかりです。

ケチな國民とも言はれたくはありませんが、物を有効に使ふことを知らないとも言はれたくありませんね。

婦人と家庭



夏は大切な熟睡と健康

睡眠は健康に大なる關係を持つものです。睡眠は深く太く熟睡しなければなりません。よく淺く短かい眠りは、いかに長時間にわたつても、その効果は至つて薄いものであります。かのナポレオン將軍が馬上三時間の睡眠を以て二ケ年間の戰陣を疲憊なく發揮したといふのも、この眞理に基いたものであります。

夏季、合理的な睡眠を得ようとしますには、周圍の開放、寢具の撰擇に注意し、尙出來ればキャンピング、或は野外開放睡眠の如き納涼的睡眠法を行ひ、自然的疲勞によつて深き太き眠りを取る事を考へなければなりません。

強ひて眠らうとしたり、半醒半眠の狀態を保つのはよくありません。かうした場合は離床し、冷水摩擦、深呼吸を行ひ、心氣一轉の後、更に就眠せねばなりません。

生活の革新は先づお臺所から！

日本は一番無駄の多い國

此の惡い風習を斷然止めませう

河口愛子女史談

廢物利用、消費節約と今になつて騷ぐのは遲つてゐると思はれます、然しこの樣な無駄を排除し、廢品を利用せよといふ運動が最近政府を中心として起つて來た事は非常に結構なことで、國民全體が參加し協力して實行せねばならぬと思ひます、これからは品物によつてはお金があつても買へなくなるのですから、金持階級の人々にも廢品利用といふことが本當にしみわたるいゝ機會だと思ひます、世界中で日本が一番無駄使ひの激しい國だといひますが、その無駄を擧げて見ますと――

第一 に日本人は氣が小さすぎて殊に婦人は物にこだはりすぎる傾向があります、そのために腦をむだに使ひすぎてつまらぬ取越し苦勞ばかりして賑かなところがありません、この腦のむだ使ひは第一にやめねばなりません、それは非常時には特に必要です、主婦がまづ朗になつて始めて家庭が朗かになつて圓滿になるのです

第二 には時間のむだが多すぎます、外國では諺にも「時は金なり」といつて、時間を大切にしますが、日本人は封建時代の風が殘つてゐて時間を大切にする觀念が餘りありません、汽車や電車に乘つても時間をむだに使はず充分利用出來る筈です

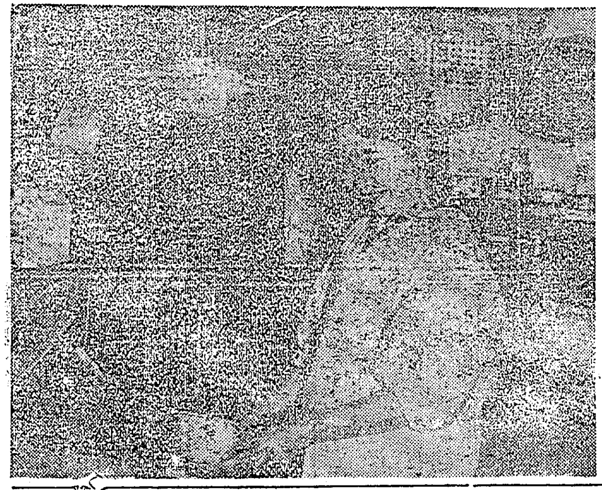
第三 に、むだに勞力を使はぬ事です、例へば物をどこへしまつたか判らず、長い間かゝて探してゐるやうな事がよくありますが始めから分類して、置場所を定め整頓してしまつて置けば勞力のむだを省く事が出來るわけです

第四 に、お金のムダ使ひをやめる事、日本人はわるい習慣があつて、細かい金に對して無頓着で「何んだ、三錢や五錢の金をケチケチするな」といふ風習がありますが、これは大變間違つてゐます

第五 に、物品のムダが多すぎます、恐らく世界中で一番ものを捨てることの好きな主婦の多いのは日本でせう、これは不必要のものを必要品とする研究をしないためだと思ひます、生活の革新は臺所よりですこの際大いに廢品の利用を考へ實踐せねばなりません

新本の取扱ひ

買ひ立ての革とぢの本をいきなり亂暴に開いてはなりません、まづ背の方を机にのせ、表紙と裏表紙を兩側に開き、それから中味を二三ページづつ左右交互に繰ひろげて讀んで中に達した時靜かに押しつけます、これを二三回繰返してから讀みはじめると、とぢにゆるみが來ません



榮養豊富な人參

嫌ひな子供には斯うして食べさせる

野菜の中でも人參はヴイタミンＡＢＣを完全に含んでゐてその他の營養素も豐富にあり、身體のために大切な食ものゝ一つですが、特有の味と香氣のために嫌ひな者がありますが、さういふ子供には次のやうな方法がよいでせう。まづ――

空腹に與へる事です、好き嫌ひのあるのは、いつも思ふまゝのものをたべてゐるか、又は間食で始終おなかをくちくしてゐるやうな子供に多く、おナカが空けば好き嫌ひなどはいつてはゐられぬものです、それで學校の歸りが遲れておナカを空かしてゐる時や又お使ひや仕事で運動した後に食慾のある時は思ひ切つて人參料理を出してごらんなさい

味を變へる、にんじんのどこが嫌だといふと大抵は獨特の味が嫌だといふから、まづ味をかへてしまつて徐々に馴らすがよい、煮しめのやうに丸の儘出すのは決してきゝめがない、なるべく油でいためるやうなもの、肉をつかふもの、ネギ類をつかふものにまぜると、にんじんの味は消されてしまふから効果的です

[illegible]、いため御飯、肉や玉ねぎの煮込み、生ねぎや酢飯のきいたもの、その他何んでも子供の好きさうでゐて、にんじんを入れてもわからないやうな料理に入れゝばてきめんに利きます

職業婦人用心帳

手紙上手は

職業婦人の第一資格

さまで能筆でなくとも、文字が綺麗で上手に書けるのと手紙の文が上手だといふことは職業婦人にとつては絕大の強味でありまして其他に社長秘書などに拔てきされた例も澤山ございます。社用の手紙はあながち候文ともかぎりませんが、すべて簡潔丁寧、たとへ字は下手でも、一字一字明瞭に書いて、意味を取り違へられることのないやうにしなければなりません。ことに解らないのに當字や誤字を書かず、[illegible]手紙に[illegible]いて、面倒がらずに、字引を引くやうにして下さい。まア社用の手紙はなるべく[illegible]の時間、午前中を選んでお書きなさい。退出の時間まぎはなどにワサワサして間違ひの起るものです。けふの返事は必ず明日にのばさず今日出すこと。

社內でラヴレターなど書くと飛んでもない間違ひの原因になりますから御注意、即ち人間はしばしば封筒と中味を取り違へるくせを持つてゐますから、何々商店總務部御中などゝして、いと艶めかしき文を送つたら、あなたはどうしますか。

實印は何がよい

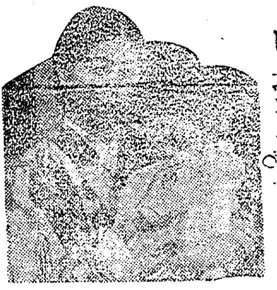
偽造の出來ぬ印材がよい

回…水晶の印材は實印として一番珍重がられます、それは石質が堅くて偽造出來ないからで、値段もあまり高くなく、一見上品ですから誰にも選ばれます、水晶の見分方は少し馴れた人なら、つかんで見れば冷いのですぐ分りますが、本の上などへ乘せて見れば硝子は活字が浮いては見えませんが、水晶はハッキリうかいて見えます

回…注意すべきは甲州產の水晶だといつて賣つてゐるもの々中にも本當の甲州產は[illegible]ないといふことです、大抵ブラジル產の質のわるいもので、水晶のやうな傷の入つてゐるのは大抵このブラジル石で、落とすと傷の所からわれてしまひます、御求めの際は信用ある店で充分吟味さるべきです

お母樣心得帳（一）

赤ちやんの正しい抱き方



赤ん坊は生後三ケ月經ちますと頸がすわつてきます。兎に角それまでの間は抱いたりなどしない方がよい、やむを得ず抱く場合には縱にせず、橫に抱く、それも頭部をよく固定するやうにしなければなりません、なぜ首がすわらないうちに抱いたりなどしてわるいかそれは首がすわらないうちはブラブラしてゐて、これが腦の發育にも多少わるい影響を及ぼすばかりでなく、根本的にこどもには刺戟を與へることがよくないからです

從つてこの意味から、あやしたり、はやしたり餘りしない方がよいのです、オンブをするのは更に感心しません、朝から晩までおんぶするのは更に感心しません

不滅のシンボル

群司次郎正　作　大津逸子　畫

…第九十四回……　自己擴充（六）

彼女はつんとして見せるのだつた。

『何を言つてるんだい。……そんなこと言つてる間に早く飯にして貰ひたいね』

『そんなに早くは出來やしませんよ。私や料理人ぢやないんだから……』

杏二はムッとしたが、併し相手にしまいと思つて、口を噤んでしまつた。

氣まづい沈默の影が一寸の間四邊を領した。

『昨夜だつて、一昨夜の晚だつて毎晚々々私やどんなに遲くまで待つてゐるんです！　表に足音がするたんびに、此處から覗いて見い／＼するんです。それに、それに手紙の返事一つ呉れないんだもの何がそんなに忙がしいのよ』

稍あつて雪乃は如何にも口惜さうに言ひ出すのだつた。

『…………』

フン！と云つたやうに、杏二は外方を向いた儘、口をきかなかつた。

『貴方が何を思つてるか、どんな事してるか、私や千里眼ぢやないけど、ちやんと知つてるわよ。今晚だつて、それから何處へ行くつてことも！　ちやんと解つてるわよ』

『フン、えらいからね。始終家の廻りを付け廻してるんだから……』

『貴方が憎いからよ！　私だつて何も探偵か何かのやうな眞似はしたくないわよ！』

雪乃はだんだん、氣色ばんで來て、

『地震を手に家へ呼んだりなんかして、さんざ見せ付けた揚げ句に……』

『馬鹿な事言ひなさい。何を言つてるんだ？』

早百合のことだと思ふと、彼もムカムカとして來るのだつた。思はず大きな聲を出した。

『それ御覧なさい！　誰かのことを言ふと、直ぐあれだ。私のことなんか、其の半分だつて思つて呉れやしない！』

『何言つてるんだい。默つてゐれば、いゝ氣になつて、あんまり言ふと、承知しないぞ』

『隱すからよ！　[illegible]隱しにするからよ。何もそんなに隱さないだつていゝぢやないの。私だつて[illegible]の前だわよ』

『言ふ必要はないぢやないか。何でもないんだもの』

『何でもないのなら、何のこと秘密にしとくがものはないぢやないの！』

『話す必要はないよ』

と、杏二は噛んで吐き出すやうに言ふ。

『食ひもせぬ肚を探られちや迷惑だ』

『隱したりなんかするから憎いんだわ。……へん、何んでもないことなんか、あるもんか』

『嫉くない。妬くない。見つともないよ』

『何を言つてんのよ！　嫉いてるんぢやないわよ。嫉いたりなんか誰がするもんか。隱すから癪に障るんだ』

歯科口腔外科
レントゲン科
院長　東京歯科醫學士　原精一
電話三一一番
平市土橋通
原歯科醫院

是非！
御融通には御用命下さい萬事便利な御相談に應じます
公債、債券、質物一般
三井質店
平四　電話六〇六番

專門
花柳病科
婦人科
產科
▼入院隨意
井坂醫院
平市田町　電話五五九番

眼鏡
メガネ
正確
廉價
最新式
各國製レンズ
富豊に取揃へて御座います
（亂視用眼鏡即時調製）
◎小店員募集　十四、五歳ノ者
根本時計店
平市二丁目（電話七六番）

神佛具
橋本屋造花店
平市新川町（電話一六三番）

美味！芳醇！
たひら正宗
山崎合名會社
電話一〇番

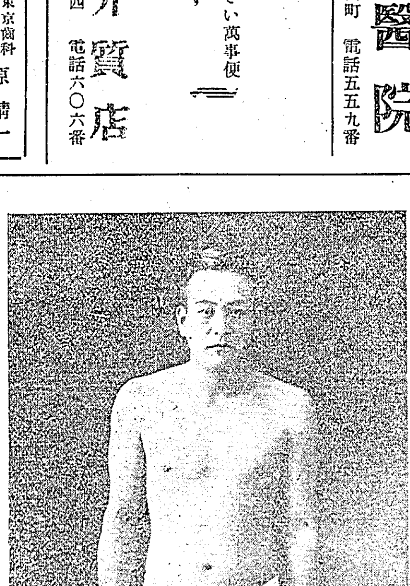
病室增築、手術室完備
產科
婦人科
醫學博士　五十嵐雄二
平市新川町　電話三六九番

上原家政婦會
平市紺屋町一一
會主產婆　上原通子
電話二二一番
產婆看護婦有資格者ニシテ最モ熟練ナル者ヲ一般家政婦トシテ派出致シマス

中野歯科醫院
平市田町（松月堂向ヒ）
電話五〇九番
院長　日本歯科醫學士　中野憲次
日大歯科醫學士　鹽谷伍郎
補綴部主任　佐藤重義
◎診療科目
一、歯科一般
保存科、補綴科、繼續架工科
歯列矯正科、小兒歯科、歯槽膿漏科
一、口腔外科
一、レントゲン科

事務員と見習募集
▽事務員は廿三歳から卅三歳まで（給料卅圓乃至六十圓）
▽見習は十五歳から十八歳まで（詳細面談）
姓名在社

慰問袋には是非……
新案特許
保健サル又を！
御使用下さい



運動に……活動に……最も輕快
本品は從來の越中褌の特長を採り、兩角に太巾のゴム帶を附し『ヌカズ』に用便の出來る保健腹帶兼用の衛生上、非常に穿心地の良いサル又で御座います
七大特長
一、胃腸健康增進効果
一、保健腹帶兼用
一、體裁ノ最優美
一、穿心地ノ輕快
一、耐久力ノ豐富
一、洗濯簡單
一、價格ノ至廉
當地有名洋品店に有